

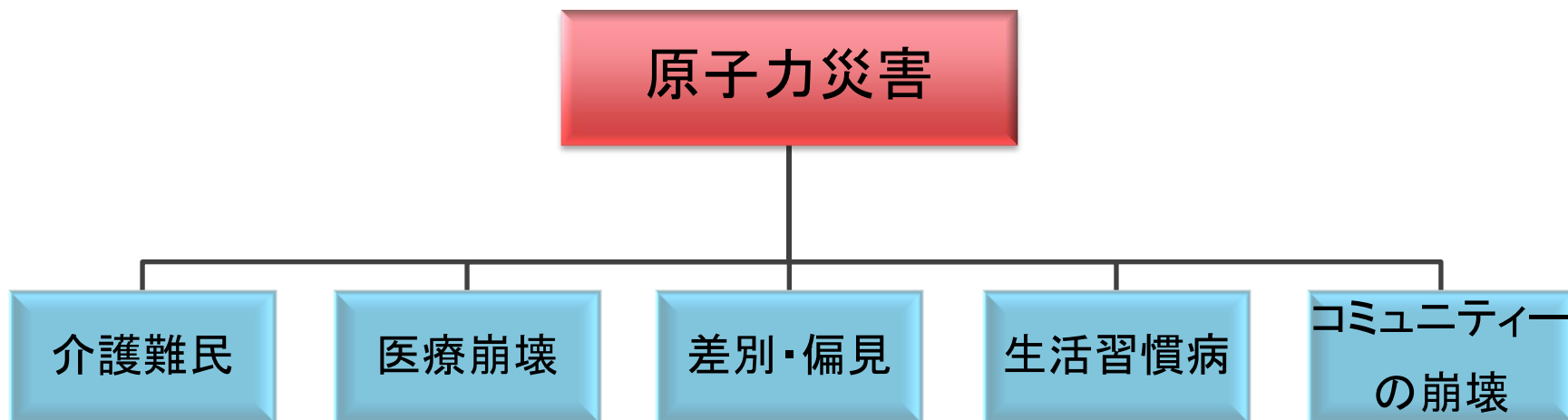
南相馬の近未来を考える

医療の現状ならびに人口予測からわかること

南相馬市立総合病院

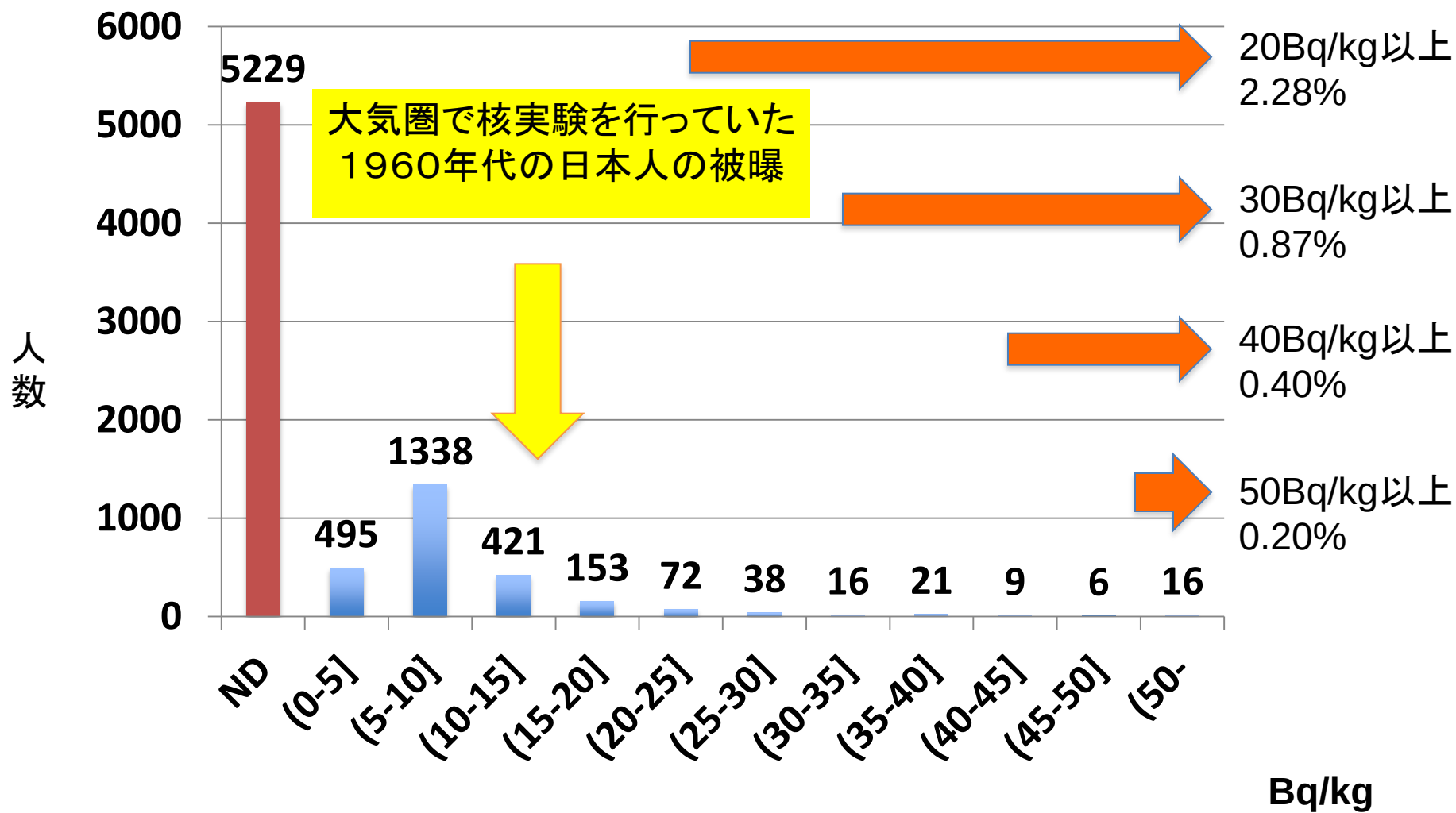
原澤慶太郎

3/11後の南相馬



原子力災害そのものも問題だが、
副次的にもたらされた諸々の事象についての問題解決が必要

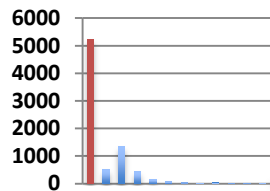
南相馬市立総合病院で計測したセシウム137体内放射エネルギー別被験者数
9/26～3/31施行 (n = 7814) 高校生以上＋成人対象



年間1 mSvの被ばくを受けるための内部被ばく量

かなりの量の内部被ばくを“し続けなければ”ならない。

現代の日本社会ではかなり難しい。



5-10Bq/kg



350Bq/Kg

気をつけるべき慢性の病気

- 高血圧
- 高コレステロール血症
- 糖尿病
- 肥満
- うつ病
- アルコール中毒



心筋梗塞 脳梗塞

命に関わる病気に目を向けているか

我々が原子力災害を経て、なすべきこと

- ① 被曝医療についての正しい理解
 - 継続的なWBC
 - 継続的な食品検査
 - 除染、移住
- ② 周辺に起こる様々な事象について
- ③ 原子力災害に対するシュミレーション

在宅診療部が示したこと

在宅診療部の設立(2012年4月)

外来、入院、往診、24時間体制

a)54%が癌患者

b)往診患者:在宅死(42%) vs 病院死(58%)

c)27%が仮設住宅

d)世帯数の中央値は2~3名

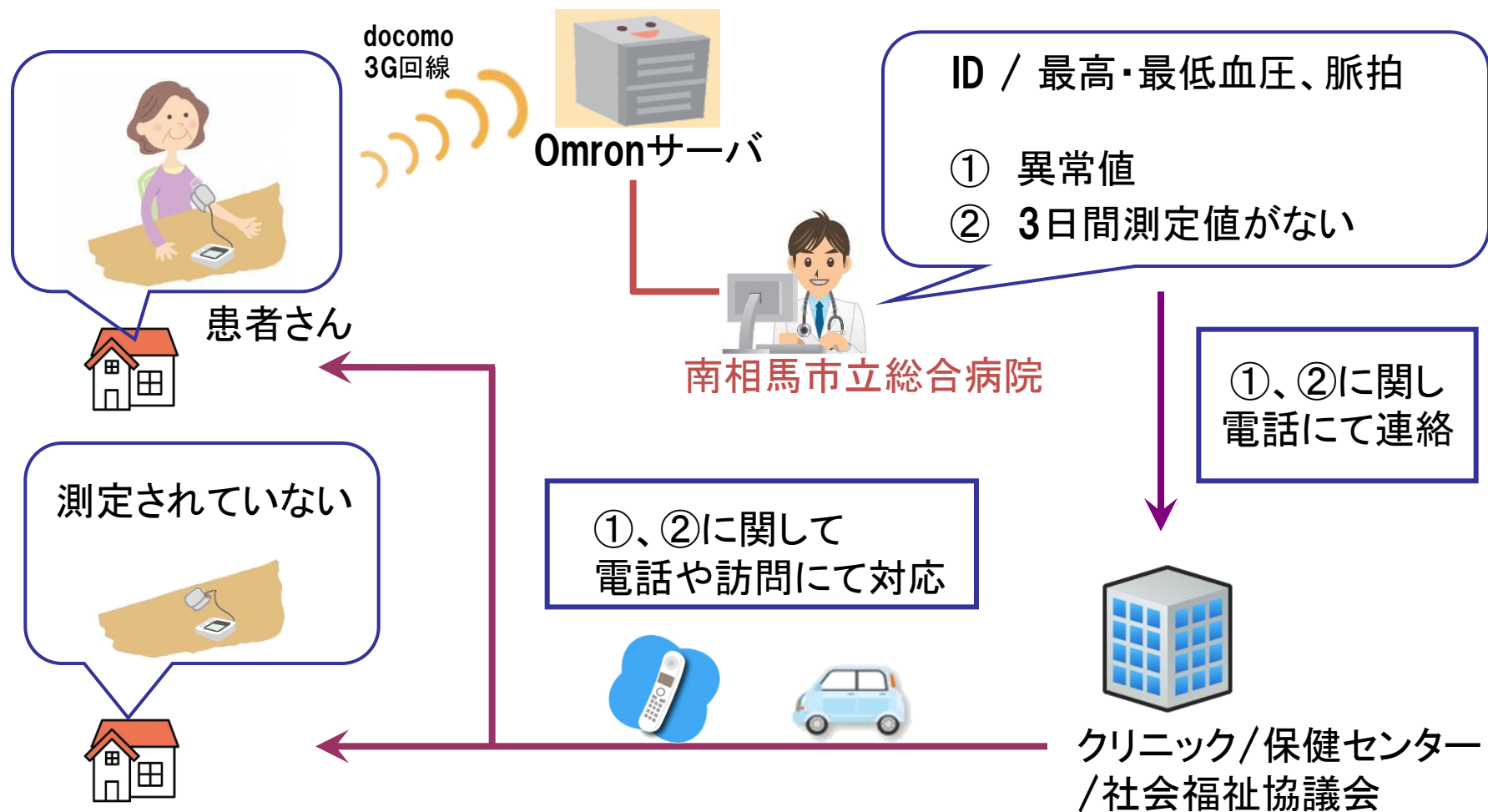
e)88%の高齢者は延命希望なし



在宅一辺倒の限界



南相馬市立総合病院の高血圧患者見守り事業





孤独死——被災地で考える人間の復興 (岩波現代文庫)

額田 勲 (著)

★★★★★ (1件のカスタマーレビュー)  いいね (0)

価格: ¥ 1,218  プライム

大災害を生き延びたのに、なぜ……。

阪神・淡路大震災後、仮設住宅地に診療所を開設し、患者一人一人に寄り添ってきた著者は、不遇な死を遂げた被災者の生前の足取りを追い、人間疎外に至る背景を繙いていく。いち早い段階で弱者切り捨ての実態を鋭くあぶり出した渾身のレポート。3.11後の今、その警鐘は一層鋭く響く。(解説=上昌広)

HOHP(ホープ) 生きがいの創成

H ひきこもりの
O お父さんを
H 引き寄せよう！
P プロジェクト

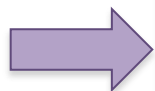


阪神淡路での教訓を生かし地域の中高年男性対象
現在、NPO法人からの受注を受け机を作成中

より根本的な街自体の問題

何から手をつければいいのか、わからない

- 農業
- 漁業
- 製造業
- サービス業
- 医療
- 行政
- etc.



そこで暮らす人々が生活できる生業

夢のようなことに補助金をつけても仕方がない。
復興需要に依存したものも近視眼的すぎる。

これらはいずれ歴史の裁きを受けることに

ロボット産業、バイオ、医療、介護

こどもたちを取り巻く状況

キャシー・デビッドソン(Duke大学)

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」(*NewYorkTimes*)

米国の教育関連ニュースサイト「MindShift」でも、大学生が今まで存在しなかった職業に就くためにどの専門を選ぶのが有利かを考え始めていることが報じられている。

なかでも**コミュニケーション**や**チームワーク**など「転移可能な一般的能力」を重視するようになっている。

我々の考えていることは通用しないかもしれない。
変化に対応できる子どもたちを育てなければならない。
IQ → EQ を高める教育を。

種まきをしよう

モンテッソーリ教育



モンテッソーリ教育法では教具の形、大きさは無論、手触り、重さ、材質にまでこだわり、子供たちの繊細な五感をやわらかく刺激するよう配慮がなされている。また、教具を通し、暗記でなく経験に基づいて質量や数量の感覚を養うことと、同時に教具を通して感じ取れる形容詞などの言語教育も組み込まれている。

モンテッソーリ教育

子どもの自主性、独立心、知的好奇心などを育み、社会に貢献する人物となること(モンテッソーリ教育の終了は24歳)を目的とするモンテッソーリ教育は、欧米ではオルタナティブ教育として評価されている。

一方、日本においては潜在能力を引き出す、知的能力をあげる小学校のお受験対策といった英才教育や早期教育として注目され、幼児教育だと誤解されることが多い。

マリア・モンテッソーリが、知的・発達障害の治療教育、貧困家庭の子供たちへの教育から、発展させてきた教育法であることはあまり知られていない。

モンテッソーリ教育のOB,OG

- アンネ・フランク
- ワシントン・ポスト誌の経営者、キャサリン・グレアム(Katharine Graham)
- Amazon 創立者 ジェフ・ベゾス(Jeff Bezos)
- Google 共同創立者 サーゲイ・ブリン(Sergey Brin)とラリー・ページ(Larry Page)
- wikipedia創設者 ジミー・ウェールズ(Jimmy Wales)
- シムシティなどで知られるシムシティシリーズの開発者ウィル・ライト(Will Wright)
- 現代経営学の父、ピーター・ドラッカー(Peter Ferdinand Drucker)
- アカデミー助演男優賞、俳優、国連平和大使ジョージ・クルーニー(George Clooney)

南相馬に足りないもの

真の「チーム」

仲良しクラブや付き合いのある仲間とは必ずしも一致しない

問題解決能力を備えたプロ集団

手始めに、何が必要なのか

- 情報収集
- 正しい問題設定
- ゴールと戦略



- お互いの弱みを知り、言えること
- 衝突を恐れないこと

さいごに

- 南相馬にはメンバーは揃っています。
- 後がない、悲惨な状況もあります。
- 強い想いをもった方も多くいます。

足りないのは「チーム」です。

問題解決に特化した、

既存の枠を越えたチームを作ってください。



ご清聴ありがとうございました。